

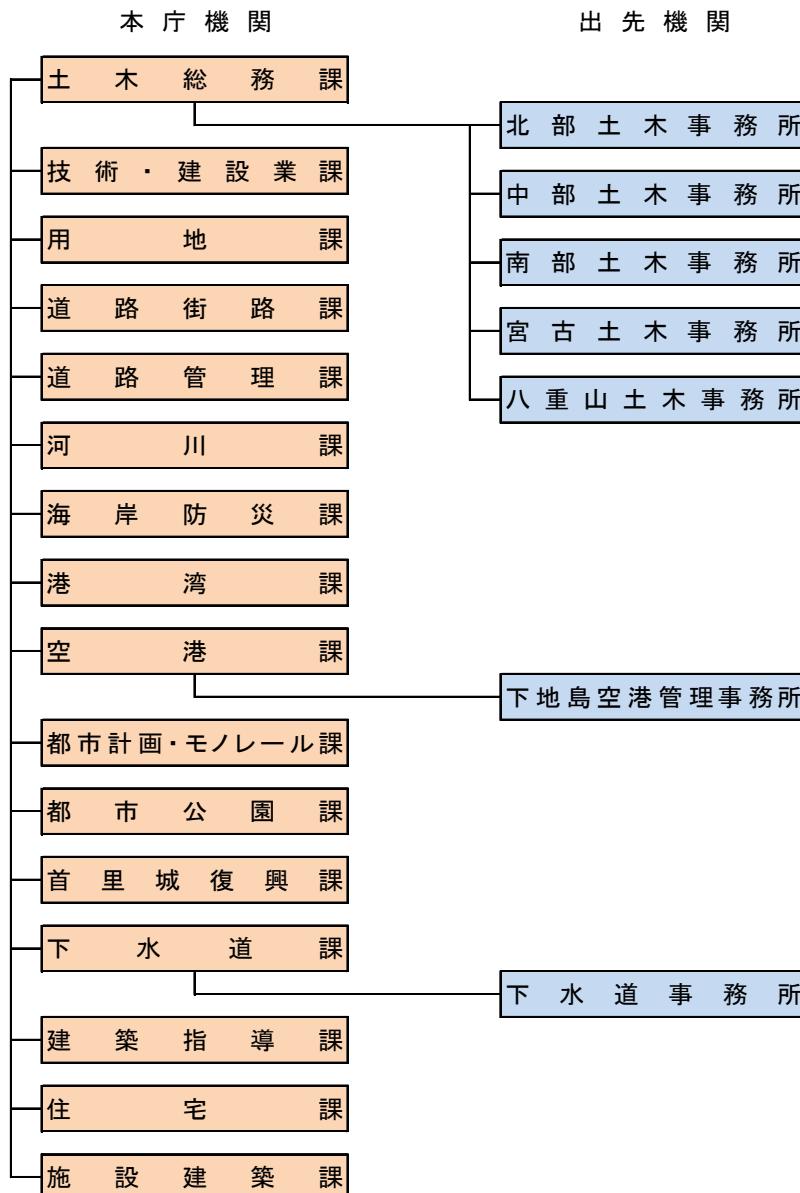


沖縄県職員採用ガイダンス(土木職)

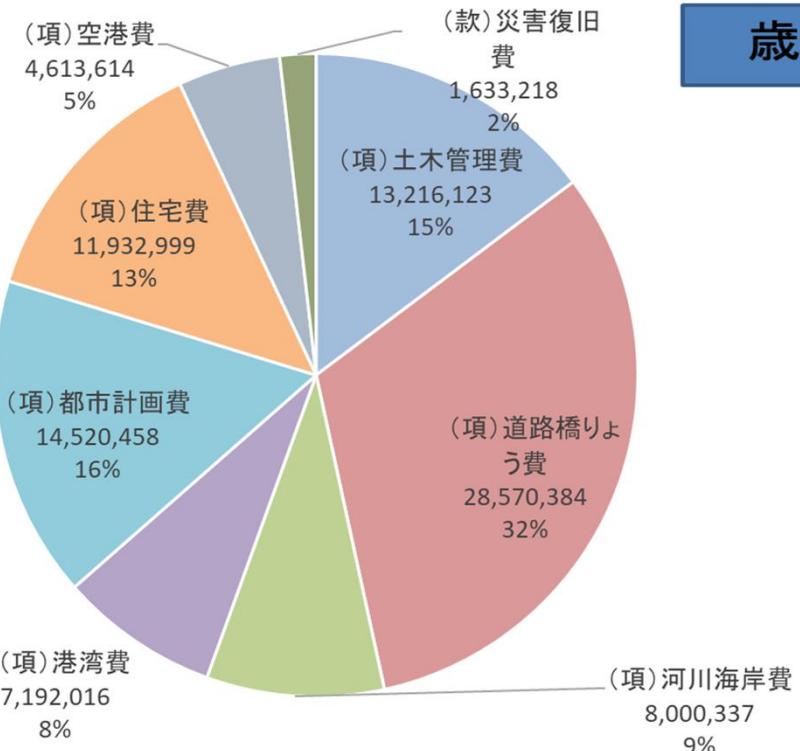


土木建築部の組織と予算

■土木建築部の組織(令和7年4月1日)



本庁：16課、出先：7事務所(758人)

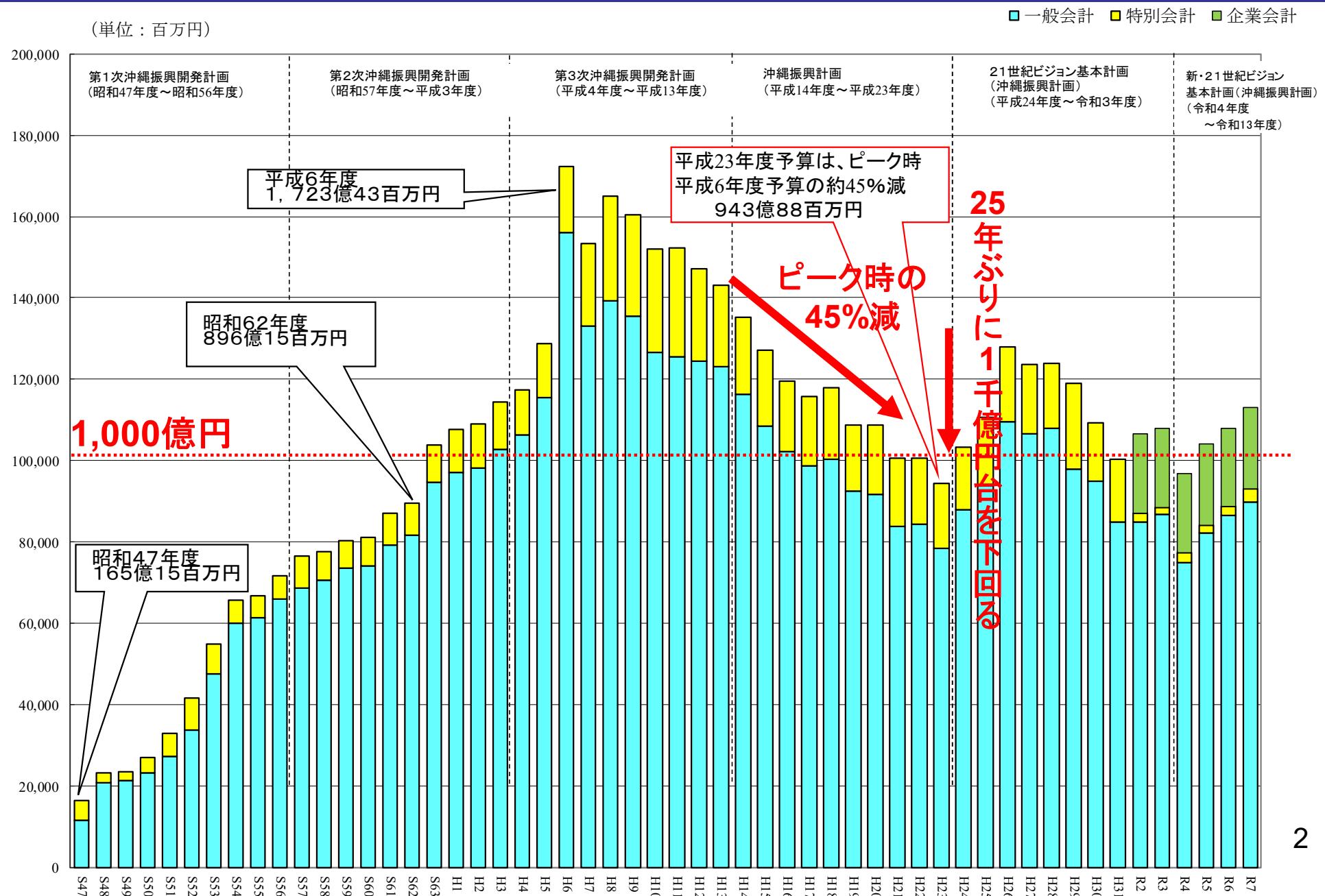


【令和7年度】

| | |
|---------|------------|
| 一般会計予算 | 約 897 億円 |
| 特別会計予算 | 約 30 億円 |
| 企業会計予算 | 約 201 億円 |
| 他部局分任予算 | 約 122 億円 |
| 合計予算 | 約 1,250 億円 |

土木建築部の予算

(単位：百万円)



沖縄振興計画(H14~)以降の主な社会资本整備施設等(完成)

平成15年度 ○沖縄都市モノレール開業

平成16年度 ○古宇利大橋開通

○那覇新都心地区完成

○豊見城市地先開発事業埋立竣功認可

平成18年度 ○与那国空港(滑走路拡張)供用

平成19年度 ○西原マリンパーク供用

○国道449号名護バイパスの全線開通

平成20年度 ○新都心牧志線開通

○比謝川水辺プラザ完成

平成22年度 ○識名トンネル開通

○ワルミ大橋開通

平成24年度 ○新石垣空港開港

平成26年度 ○伊良部大橋開通

平成27年度 ○儀間ダム竣工

平成29年度 ○具志川環状線開通

○浦添西原線(港川道路)開通

平成30年度 ○下地島空港ターミナル開業

令和元年度 ○都市モノレール延長部開業

令和4年度 ○KINサンライズビーチ供用

令和5年度 ○モノレール3両編成運行開始



モノレール3両編成



那覇新都心地区



新都心牧志線



伊良部大橋



下地島空港



KIN Sunライズビーチ

道路



離島架橋



古宇利大橋
(今帰仁村)



伊良部大橋
(宮古島市)



阿嘉大橋
(座間味村)



池間大橋
(宮古島市)

港湾、海岸

本部港(本部地区)



中城港湾



金武港湾海岸(ギンバル地区)



都市公園



維持管理・電線地中化

整備前



整備後



整備前



整備後

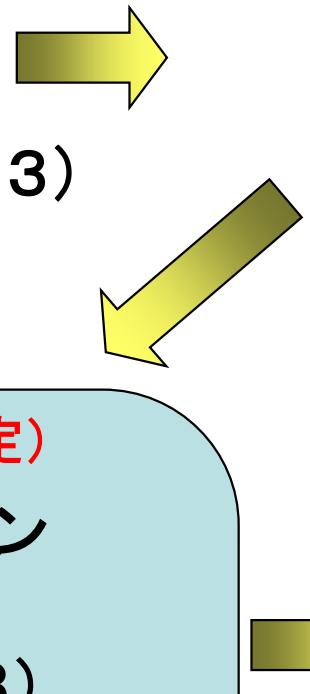


沖縄振興計画の変遷

○第1～第3次
沖縄振興開発計画
(S47～H13)

(初めて県が主体となり策定)
○沖縄21世紀ビジョン
基本計画
(H24～R3)

【施策展開の基軸】
○潤いと活力をもたらす沖縄らしい
優しい社会の構築
○日本と世界の架け橋となる強く
しなやかな自立型経済の構築



(開発の文字が除かれた)
○沖縄振興計画
(H14～H23)

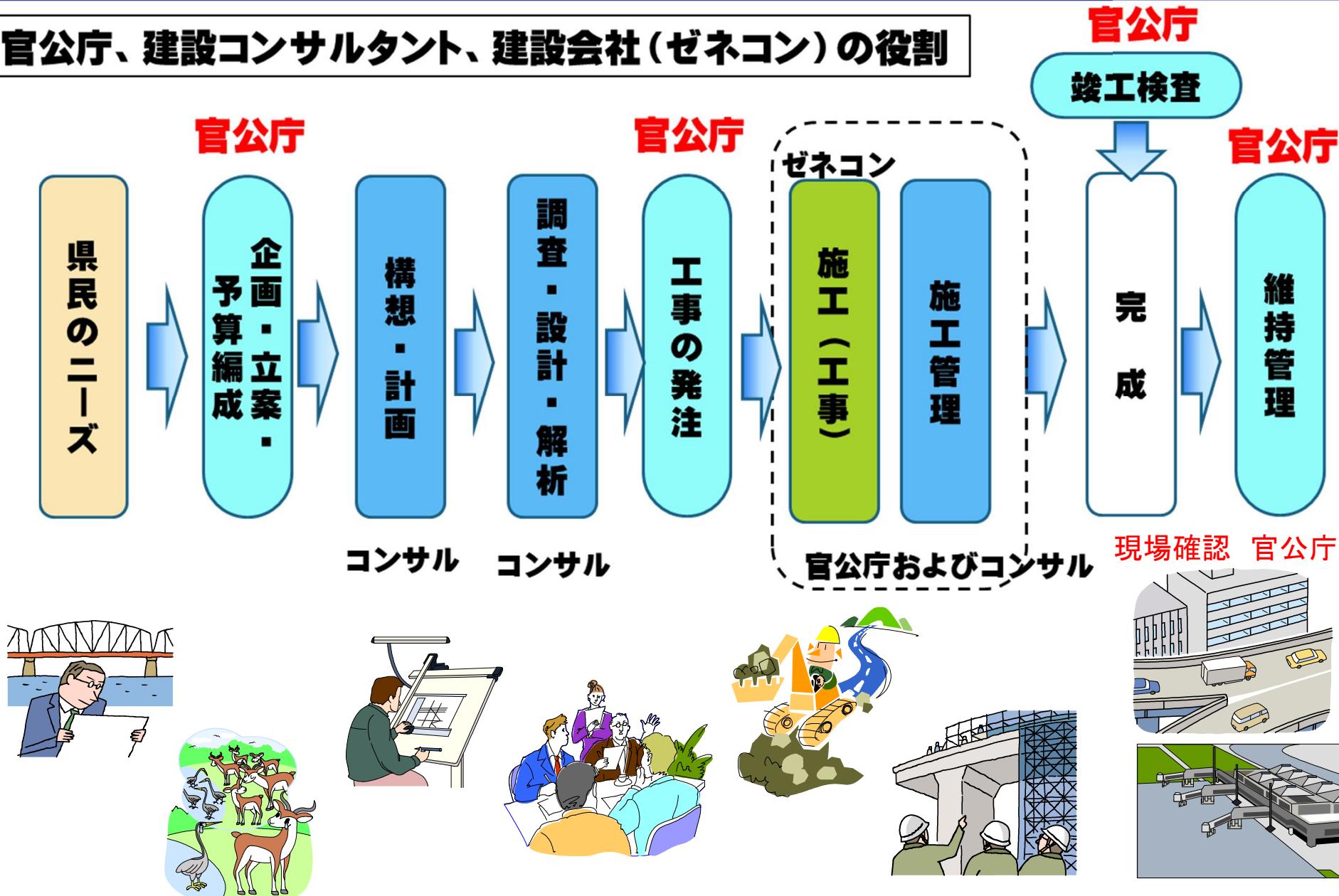
(新たな沖縄振興計画)
○新・沖縄21世紀ビジョン
基本計画
(R4～R13)

現在

【施策展開の方向性】
○平和で生き生きと暮らせる
「誰一人取り残すことのない
優しい社会」の形成
○世界とつながり、時代を切り拓く
「強くしなやかな自立型経済」の構築
○人々を惹きつけ、ソフトパワーを
具現化する「持続可能な海岸
島しょ圏」の形成

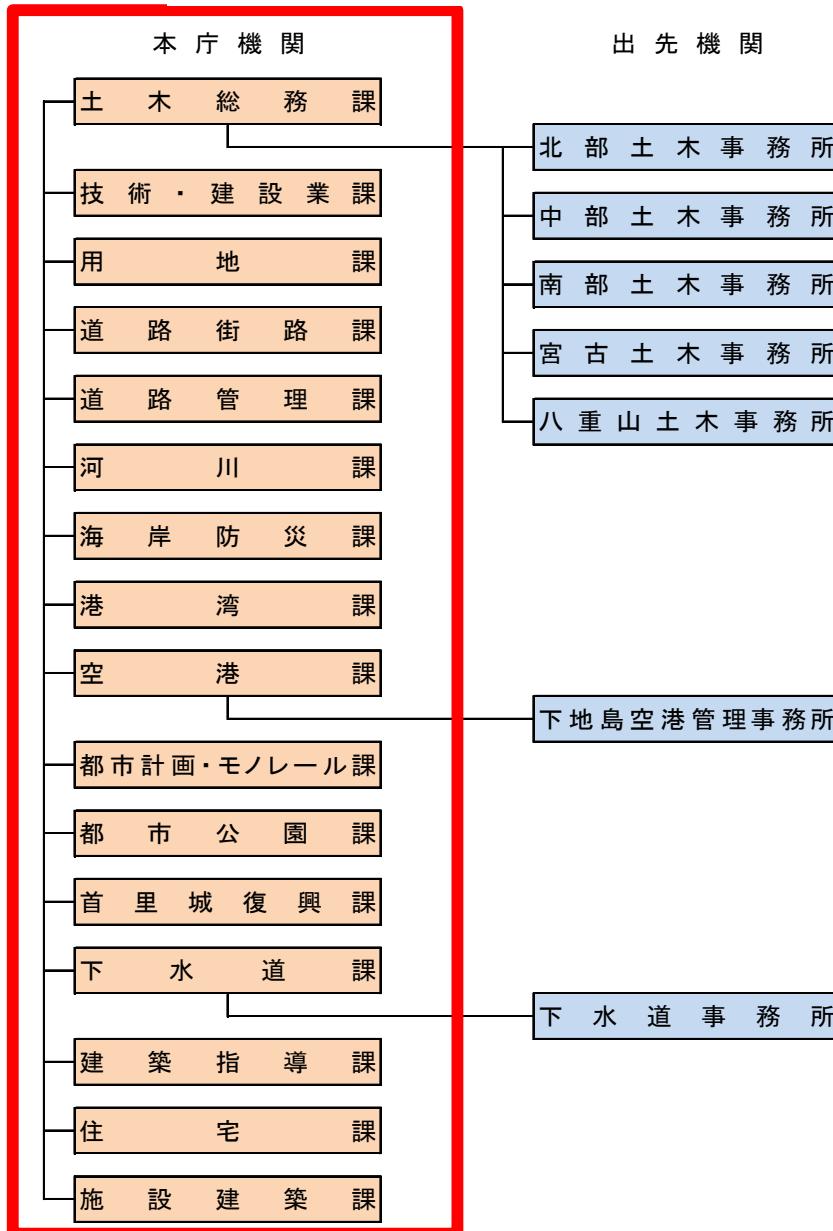
社会资本整備(公共事業)の流れと土木系公務員の役割

官公庁、建設コンサルタント、建設会社(ゼネコン)の役割



主な業務内容(本庁各課)

■土木建築部の組織(令和7年4月1日)



業務内容は部署によって大きく異なるが...

主に

- ・計画の策定や基礎調査に関すること
- ・予算要求、事業の進捗管理に関すること
(各事務所との連絡調整)
- ・議会対応

そのほか

- ・国から依頼された調査物への対応
- ・県民からの問い合わせ対応
- ・工事・委託業務発注 等

主な業務内容(土木事務所)

- 北部土木事務所管内
- 中部土木事務所管内
- 南部土木事務所管内
- 宮古土木事務所管内
- 八重山土木事務所管内



・工事の発注 及び 監督

例えば道路整備班なら...
 「県道〇〇線道路改良工事」
 「県道〇〇線□□橋下部工工事」など

道路に関する工事発注と監督を行う

道路

港湾

河川

海岸

街路

公園

砂防

etc...

主な業務内容(土木事務所)

現場監督員の主な役割

○現場状況の熟知

受注者の状況、工事現場の実態を把握する

○現場立会確認

施工条件に応じて、臨場にて確認

○工事の促進

常に工事の進捗状況に注意し、計画工程と
実施工程の照合を行う

○設計図書の変更

設計と現場条件に差異がある場合など、
必要に応じて設計図書の変更を行う

○その他

関係機関との調整、地元との調整 等

沖縄県の土木職員の魅力とやりがい

- 大規模な事業に携わることができる！
- 沖縄のインフラ整備に携わることで
沖縄の発展に貢献できる！
⇒沖縄の持つポテンシャルがインフラ整備によって
最大限に引き出される
- ハード防災の面から、県民の暮らしを支える
⇒県民の生命と財産を守る責任ある仕事
- 沖縄県全域を対象に、
様々な業務、工事に携わることができる！